

三沢市商工会行動プラン

～テーマ：個社支援の強化と地域経済振興による“空の街三沢”の活性化～

(1) 商工会を取り巻く環境の現状と将来の姿

○自地域の総括的概要と現状課題

当市の人口は現在約3万8千人である。米軍・航空自衛隊三沢基地を有し、米軍人等約8千人が居住するため、経済活動において基地からの影響を大きく受ける商業活動中心の街である。産業別就業者数は公務が最も多く、次いで製造、卸売・小売となっている。観光施設は市内一円に点在しているものの観光産業の地域経済への波及効果は大きいとは云えない。近年は三沢基地周辺を中心商店街から東部太平洋方向、南部おいらせ町方向に商業集積域が移行し、宅地造成もすすんでいることから人口集積域も同時に移行している。三沢市は「未来へつなぐ 心安らぐ 国際文化都市」を基本理念に掲げ、「三沢市まち・ひと・しごと創成総合戦略」のなかで雇用の創出、農水産、商業、観光の振興の基本的方向性を定め各施策に取り組んでいる。

○人口動態

人口は、過去20年ほどで約14%（約6千人）減少し、2040年には約3万1千人まで減少するとの推計がでている。また、高齢化も進み、約20年で労働者人口割合は60%ほどから約50%に、65歳以上の割合も約24%から約39%となり、今後も進むことが想定される。

○商工業者や小規模事業者の動向

過去20年ほどで商工業者数は約1%（432者）減少、ほぼ小規模事業者である。本会独自調査では年率換算で1.1%減となり10年後は1,140者へ減少する見込みである。

	H13	R3	対比増減	年率換算	R6	R15	R6比
商工業者	2,057	1,625	△432	△1.0%	1,609	1,470	△147
小規模事業者	1,640	1,274	△366	△1.1%	1,260	1,140	△134

○その他産業構造など特記事項

市中心部から車で10分ほどの距離に三沢空港、東北新幹線駅がある八戸市や七戸町へも約40分で移動できるなど交通の要衝となっている。また、六ヶ所村の原燃施設や市内外に点在する製造工場など産業集積がすすんでおり、ビジネス需要がある。さらに基地関連の住宅工事や地区の集団移転構想、国際的な観光交流など他市町村にはない特徴がある。

(2) 重点推進施策

○基本的な考え方(ビジョン)

本会は、空の街三沢の地域産業活動を活性化させるため、雇用の確保と地場産業の育成を図り、個社の伴走型支援強化と効果的な地域経済振興活動を通じて、地元中小・小規模事業者の持続的発展に貢献します。

○主な重点推進施策

- ・伴走型支援の強化による経営発達支援事業及び経営改善普及事業の実施
- ・雇用確保につながる労務環境の改善、福利厚生の実施に資する取り組み支援
- ・ビジネス客や観光客の回遊または誘客促進による飲食・宿泊業の活性化
- ・地元商業・サービス事業者の販売促進活動の側面的支援

(3)重点推進施策を推進するための具体的な取り組み

○支援12項目の現状数値と数値目標の達成

支援項目	創業支援	事業承継	経営革新計画	経営力向上計画
現在値	9件	5件	0件	0件
目標値	23件	24件	13件	3件
支援項目	持続化補助金	経営計画策定支援	経営改善普及事業	マル経融資・件数
現在値	3件	3件	2,057件	5件
目標値	36件	65件	5,387件	30件
支援項目	マル経融資・額	記帳継続指導	記帳機械化	労働保険
現在値	26,100千円	149件	102件	348件
目標値	150,128千円	238件	108件	655件

※現在値は令和5年度の値、目標値は10年後の目標値

○上記以外の具体的な取り組み

- ・商業・サービス業の販売促進活動(売り出し、商品券事業)の側面的支援
- ・建設工事等の受注機会確保に資するセミナーや労働安全衛生大会の開催
- ・人手不足対策や福利厚生充実に関する支援制度の情報提供や活用支援
- ・地域経済振興活動(イベント、まつり)による誘客促進の支援

(4)実施し得る体制(環境)

○あるべき体制

現在、本会は市中心部に位置する商工会館を拠点として事務局長、経営指導員3名、補助員2名、記帳専任職員3名、常用嘱託職員5名の計14名で運営している。当面、事業者支援体制や財政運営に大きな変化は見込まないものの、これまで以上に補助対象職員が個社支援に傾注し、かつ、効果的な地域経済振興活動(イベント、まつり)に取り組むためには、地域経済振興活動に従事する職員とそれに関連する予算を確保する必要がある。

(5)体制(環境)づくり(時間軸)

本会独自調査によれば、むこう10年間は補助対象職員の減員は見込まれないため、現事業者支援体制は維持されるが、商工業者を取り巻く環境変化に対応した事業者支援体制の維持には、本市と周辺町村の広域的な事業者支援体制の確立、時代要請に応じた地域経済振興活動の在り方の再確認などを数年掛けて検討していく。

(6)特記事項

○市との連携体制の確立と安定的な支援の継続

市の基本理念「未来へつなぐ 心安らぐ 国際文化都市」と「三沢市まち・ひと・しごと創成総合戦略」にある各分野の振興に本会が取り組み、その効果を十分発揮するためには、安定的に遂行し得る体制が必要不可欠である。そのため、市内外の関係団体との連携・協調はもちろん、市との連携を強化し、商工会に対する安定的な支援(予算)の確保について確実なものとするため、市当局及び市議会との意見交換や懇談会を通じて、本会及び本会が取り組む事業について一層の理解を求めていきたい。